

Q. 電中研って どんな研究所？

A. 電力中央研究所は、1951年(昭和26年)に『電力の鬼』と呼ばれた松永安左エ門によって、日本の電気事業に関わる総合的な研究機関として創設されました。現在は「持続可能で社会に受容されるエネルギーシステム」を2050年の日本の目指すべき姿と定め、その実現に向けて研究を推進しています。

赤城試験センター (群馬県前橋市)



狛江地区 (東京都狛江市)



栃木県

群馬県

茨城県

埼玉県

東京都

千葉県

神奈川県

塩原実験場 (栃木県那須塩原市)



我孫子地区 (千葉県我孫子市)



・サステナブルシステム研究本部

大手町地区 (東京都千代田区)



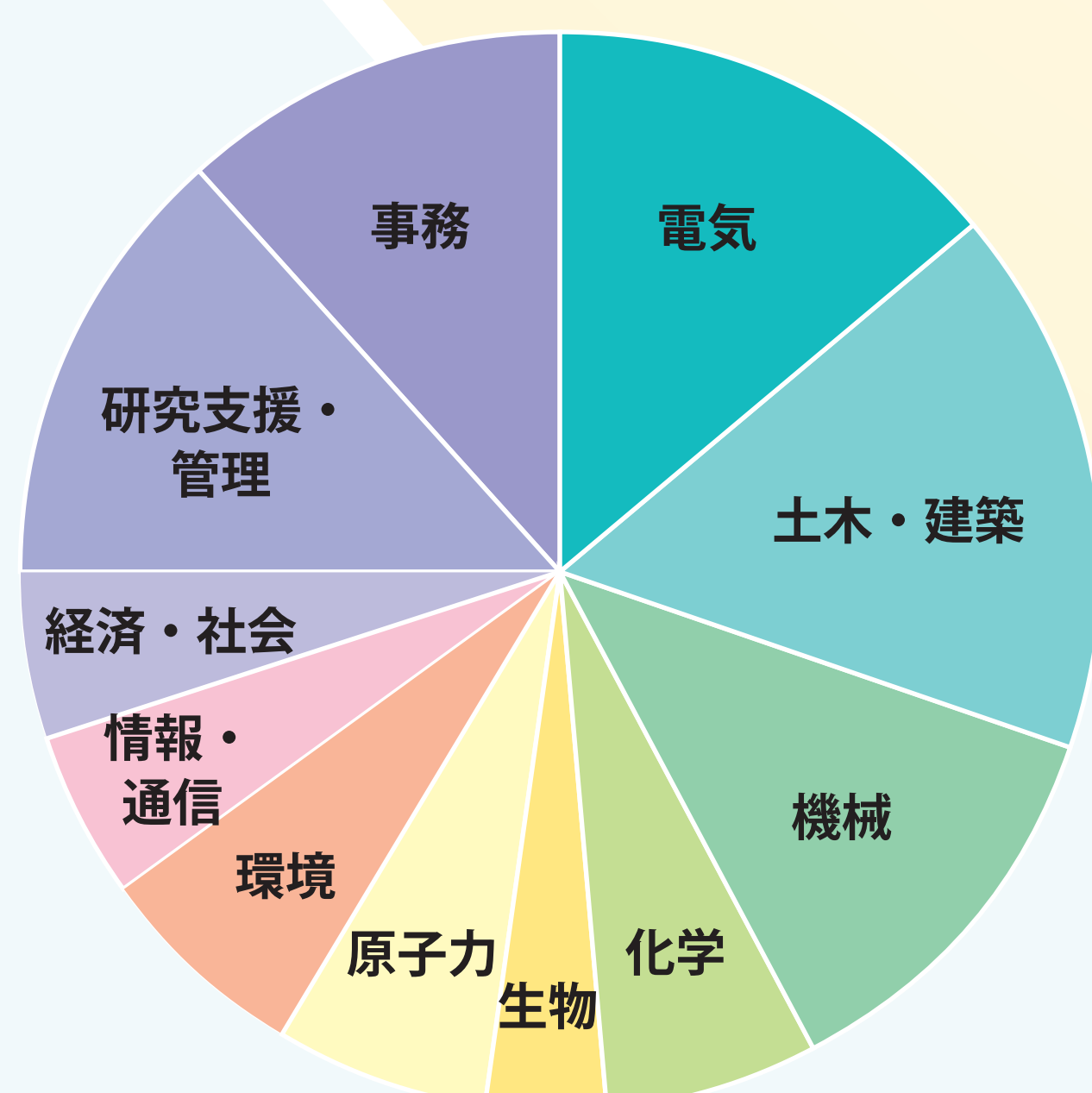
・本部
・社会経済研究所
・原子力リスク研究センター

横須賀地区 (神奈川県横須賀市)



・エネルギー変換・エネルギー貯蔵研究本部
・グリッドインベーション研究本部

専門分野別人員構成



横須賀地区に2研究本部、我孫子地区に1研究本部を設置し、大手町地区の社会経済研究所、原子力リスク研究センターを加えた研究体制で、電気事業が直面する課題に取り組みつつ、2050年のエネルギーシステムの実現のために必要となる、電源の脱炭素化や電化の推進、自然災害や再生可能エネルギーの大量導入にも耐え得る電力システムの構築などに関する研究成果を創出していきます。

